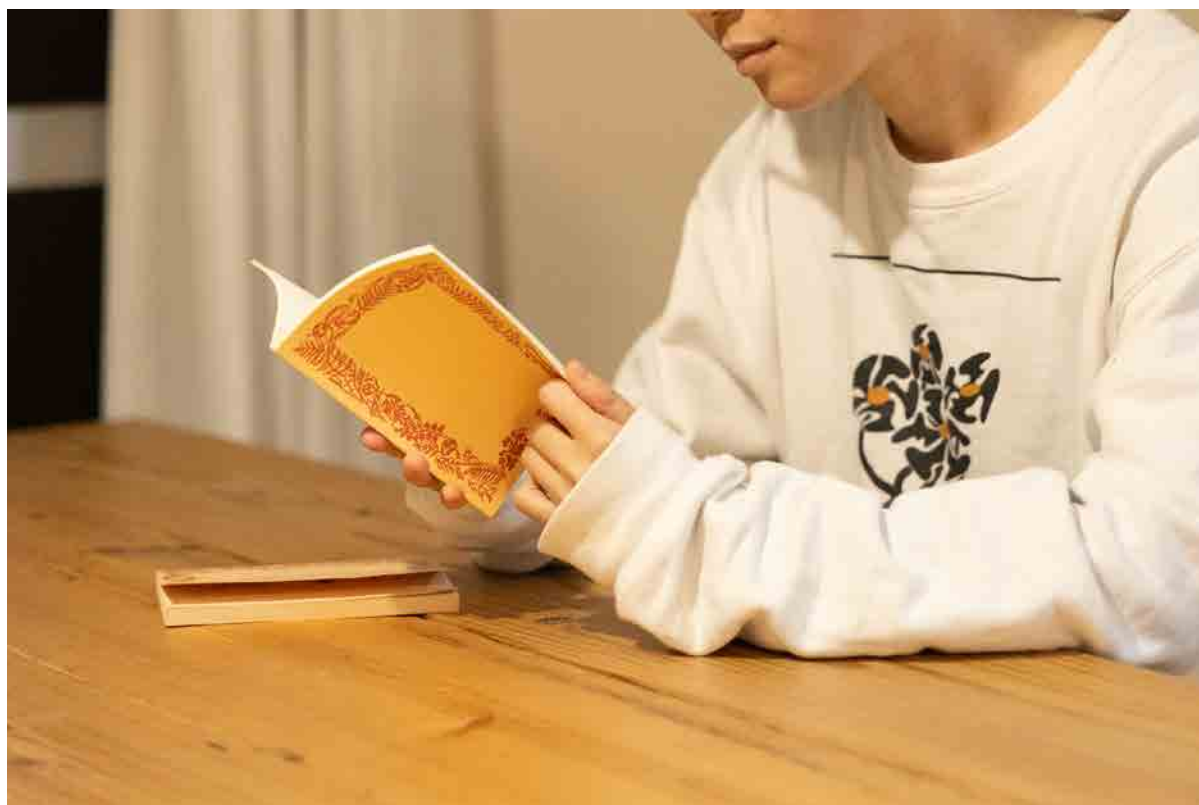


身体は語る、

身体をまなぶ

クィア／フェミニズムの交差点から見るアート批評と実践



クィア／フェミニズム理論は、誰かを、あるいは何かを、男性（的）／女性（的）とジェンダー・ラインに沿って二分化し、かつ、それを「自然なもの」「正常なもの」とみなしてしまうことの権力性／暴力性を問うてきました。世界から居場所を奪われている者がいるとしても、この歪みは「自然」で「正しく」見えるがゆえに気付かれにくいものとなります。こうした問題は表現者によってどのように問いかけられているのでしょうか。また作家自身がとくに意図していない場合でも、クィア／フェミニズムの視点を通じて美術作品はどのような解釈に開かれていくのでしょうか。本講演会では「身体」のアート表現に注目し、批評と実践を通じてこうした問題に接近します。

黒木 結 アーティスト
帝塚山大学非常勤講師

当事者性から距離を置いて語るための実践

高嶋 慈 美術・舞台芸術批評
近畿大学非常勤講師

クィアとフェミニズムの視点で読み解く現代美術

参加費：無料 対面とオンラインのハイブリッド開催（Zoom 利用）

会場 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス B1棟1F第1講義室
アクセスマップ: <https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

定員 対面 60名 オンライン 150名（先着順）
（定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます。）

申込方法 対面参加、オンライン参加希望者ともに、女性学研究センター WEBサイト、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

申込締切 2025年11月12日（水）17時

お問合せ先 女性学研究センター
Zoomのアドレスを11月13日（木）にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、11月14日（金）16時までに女性学研究センター（www.omu.ac.jp/ss/cws/）にご連絡ください。

コーディネーター：内藤葉子（大阪公立大学）

大阪公立大学女性学研究センター主催 2025年度男女共同参画事業

2025.11.15
SATURDAY
13:00 - 16:00
対面受付開始 12:30

